

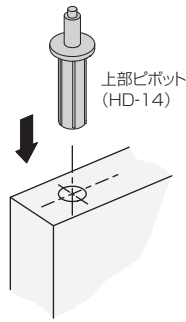
施工ガイド

- ドア錠
- 1
- 丁番
- 2
- スライド
丁番
- 3
- 開き戸
金具
- 4
- 引戸錠
- 5
- 引戸
金具
- 6
- 上吊式
引戸金具
- 7
- 移動
間仕切
金具
- 8
- 折戸
金具
- 9
- 室内用
アルミ建具
- 10
- 取手・
引手
- 11
- スライド
ワイヤー
バスケット
- 12
- 収納・
吊金具
- 13
- その他
家具金物
- 14
- 物干金具・
諸金具
- 15
- 真鍮
アンティーク
- 16
- 設計
施工
ガイド
- 会社案内

■金具の取付け方法

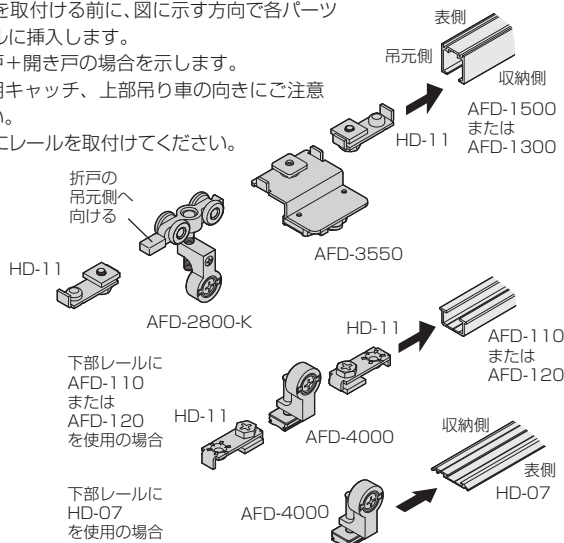
1. 戸に付ける金具の取付け

- ① 丁番を所定の位置に取付けます。
- ② 戸の吊元側に加工した穴に、下部ピボット (HD-13)、上部ピボット (HD-14) を挿入します。
※ 下部ピボットにHD-13を使用する場合は、前ページの加工寸法参考図通りの2段加工穴が必要となります (専用工具も用意してあります)。
- ③ 上部吊り車は、結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ④ 固定カップ部のみ戸の裏面加工部に取付けてください。



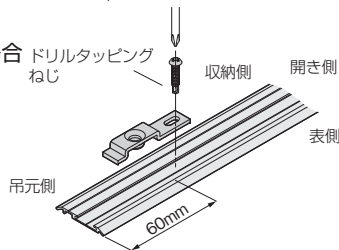
2. レールの取付け

- ① レールを取付ける前に、図に示す方向で各パーツをレールに挿入します。
※ 図は折戸+開き戸の場合を示します。
※ 開き戸用キャッチ、上部吊り車の向きにご注意ください。
- ② 上下枠にレールを取付けてください。



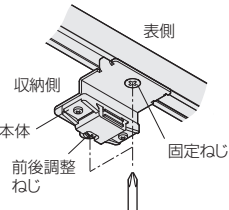
3. 下部レールにHD-07を使用の場合 下部ピボット受け金具の取付け

- ① ピボット受け金具 (HD-73) を下部レールに添付ねじで止めます。



4. 開き戸用キャッチ (AFD-3550) の取付け (「折戸+開き戸」にする場合) -3550の取付け

- ① ストライクを開き戸の収納側にねじ止めします。
- ② 開き戸用キャッチ本体の固定ねじをドライバーで締め付け、固定します。
- ③ 前後調整ねじにより、戸厚に対する調整をしてください。

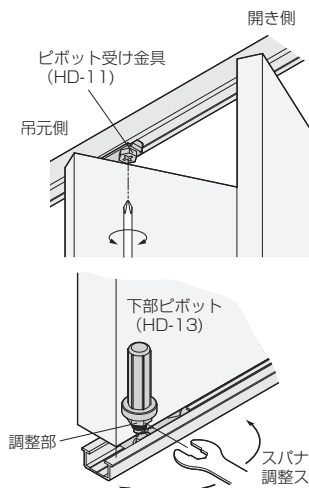


※ 戸の吊込みは、折戸の吊込みに準じてください。
※ レールに後付けはできません。

■戸の位置調整

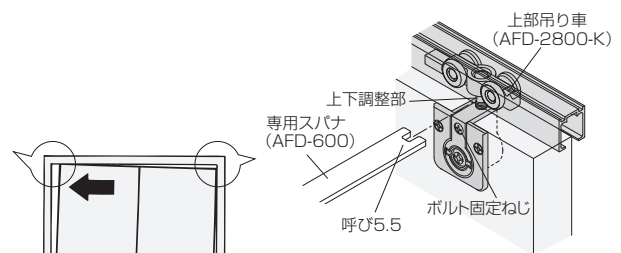
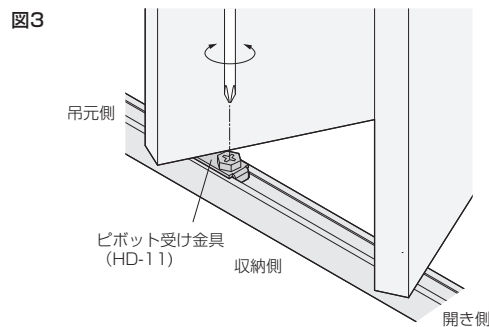
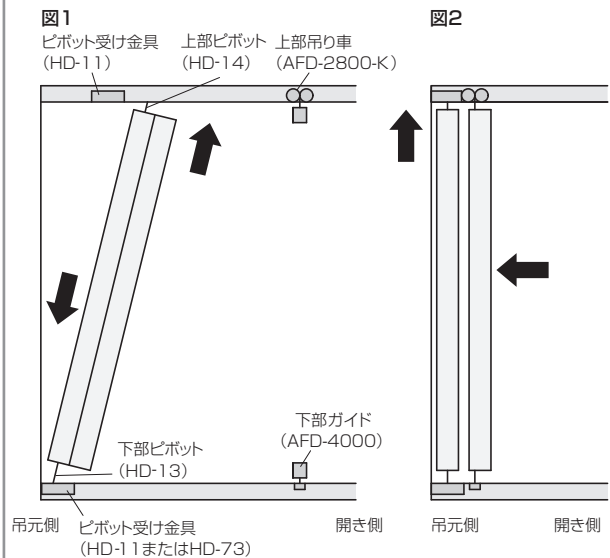
戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合
▶ 各金具の調整部で、上下・左右の調整をしてください

- ① 調整は戸を吊ったままの状態で行えます。
※ 調整時に戸を持ち上げると調整しやすい場合があります。



■戸の吊込み

- ① 上部ピボット受け金具はレールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具 (HD-11 または HD-73) よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットを下部ピボット受け金具 (HD-11 または HD-73) に入れます (図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てながら、上部ピボットを上部ピボット受け金具 (HD-11) に入れます。
- ④ 戸の開き側に付けてある固定カップ部に、上部吊り車と下部ガイドのホルダー部を差込み、結合ねじを締め付けて固定します。
- ⑤ 吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をドライバーでしっかりと固定してください (図3)。



- ① 戸を吊ったまま、ボルト固定ねじをゆるめてからホルダー部の上下調整部を専用スパナで回すと、戸の上下調整ができます。
※ 調整時に戸を持ち上げると調整しやすい場合があります。

ご注意

調整後は必ずボルト固定ねじを締め付けてください。ボルト固定ねじを締めないと、建て付けがくったり、戸が脱落するおそれがあります。